

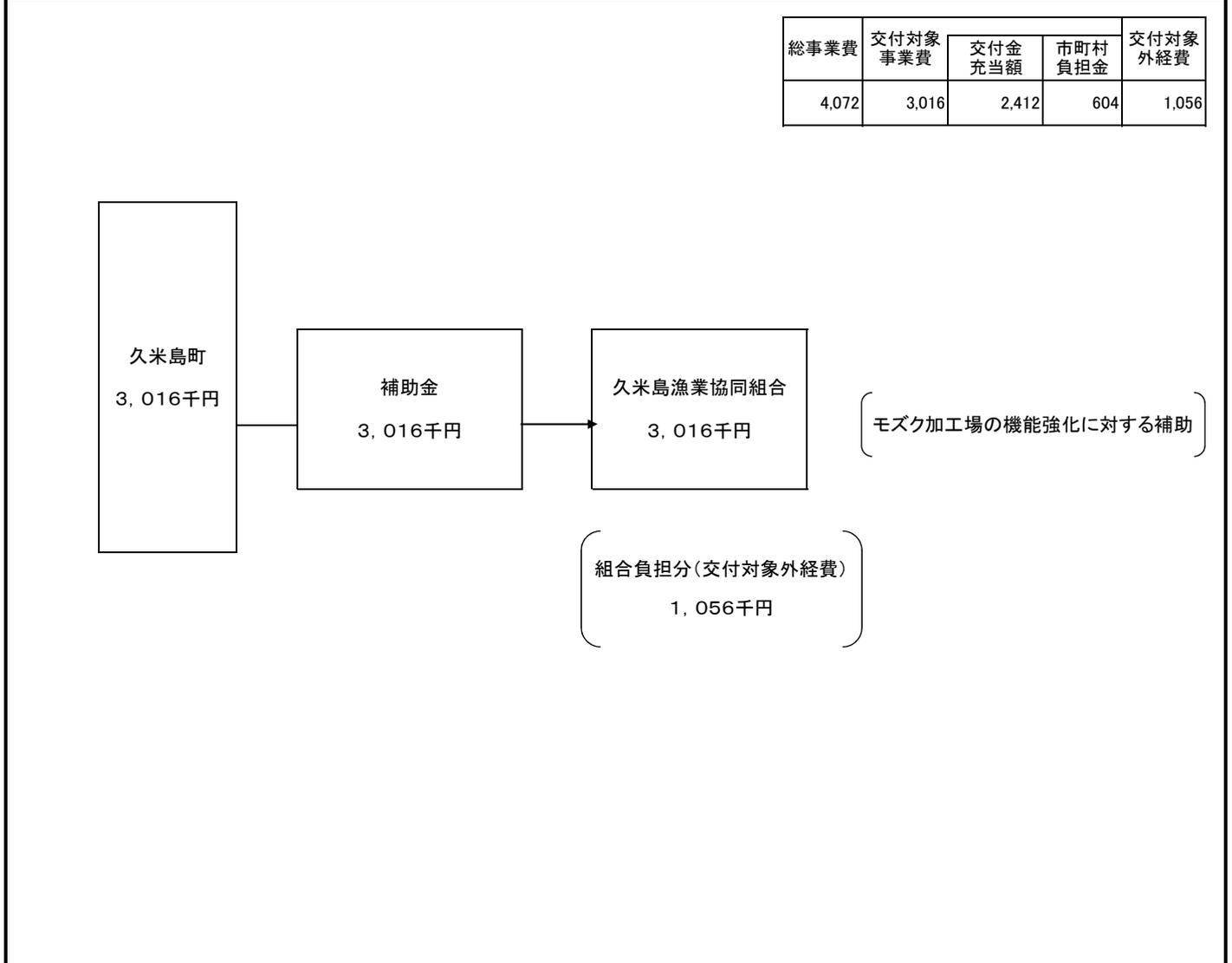
市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	モズク加工場機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)イ		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		農林水産業の振興		
事業内容	モズク生産量の増加を図るため、久米島漁業協同組合が実施するモズク加工場の機能強化に係る取組に対して支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額		8,456		23,272	3,227
	(b) 予算現額		8,456		23,272	3,016	
	(c) 増減額(b-a)		0		0	▲ 211	
	(d) 繰越額		0		0	0	
	A. 計(b+d)		8,456		23,272	3,016	
	B. 執行済額		8,240		23,200	3,016	
	うち交付金充当額		6,592		18,560	2,412	
	次年度繰越額		0		0	0	
	執行率(%) (B/A)		97.4%		99.7%	100.0%	
予算の状況の説明	・予算の減額については、備品の入札残に伴うものである。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったの考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	バッテリーフォークリフト整備(2台)	目標	()	()	()	(2台)	
		実績				2台	
	モズク加工場の塩蔵加工施設の整備	目標	()	()	(塩蔵加工施設の整備)	()	
実績				整備完了			
冷凍設備設置	目標	(一式)	()	()	()		
	実績	一式					
達成状況説明	当初計画通りフォークリフトを2台導入したことで、作業が効率化され、モズクの加工処理能力の向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		加工場で製品化されたモズク製品の出荷量	()	(2,461t以上)	()	()	()
	モズク製品: 養殖系モズク(生冷凍)、養殖本モズク(生冷凍)、養殖本モズク(塩蔵)	実績		2,110t			
	※モズク収穫時期が1月~6月であるため、指標は暦年(H31年1月~12月)の出荷目標	目標	()	(820万円以上)	()	()	()
	【H30事業で設定した成果目標】 モズク生産者一人当たりの養殖本モズク(時期物)生産による所得	実績		1,500万円			
進捗状況説明	(モズク製品の出荷量) フォークリフトを整備したことにより作業が効率化され安定供給につながったが、目標値2,461tを達成できなかった。 (養殖本モズク(時期物)生産による所得) H30年度に塩蔵加工ライン及び塩蔵タンクを整備したことにより生産性の向上が図られ、モズク生産者一人当たりの養殖本モズク生産による所得が1,500万円となり、目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(モズク製品の出荷量) フォークリフト整備により加工処理能力が向上し、モズク増産への対応が可能となったが、繁忙期(4月～6月)に梱包するコンテナの数が不足しており、需要に対応できていない状況である。	(モズク製品の出荷量) 今後も生産者の増加を予定しており、さらなる増産が見込まれる。出荷をスムーズに行い、品質の確保及び安定供給を図るため、出荷機能の強化を図る必要がある。
	(養殖本モズク(時期物)生産による所得) H30年度に実施した塩蔵加工ライン及び塩蔵タンクの整備により、加工処理能力が向上したことで養殖本モズク(時期物)は安定して生産をすることができ、品質も良く生産者の所得も向上した。	(養殖本モズク(時期物)生産による所得) 本加工場では天然モズクの受け入れも行っている。モズクの性質上、養殖モズクと天然モズクを同じ機械を使用することができない。天然モズクで使用する機械の効率が悪く、老朽化が進んでいることから養殖モズクと同様に機能強化を図る必要がある。

今後の取り組み方針

(モズク製品の出荷量) モズク加工場への梱包用網コンテナを導入し、生産量増加に対応できる体制を整える。
(養殖本モズク(時期物)生産による所得) R3年度でモズク加工場への養殖モズクと同等の攪拌機を整備し、天然モズク収穫者の所得向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である漁協は、漁業者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は漁業の振興を図る上で必要な設備であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は総事業費の約2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町
------	------

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	優良雌牛導入事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)ア
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26~令和3年度	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容	子牛の品質及び価格の向上を図るため、県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛を導入し、農家へ貸付を行う団体に対し、導入に係る経費の支援を行う。
------	---

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)
--------	---

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	16,200	27,000	34,200	34,200	31,985
	(b) 予算現額	25,237	34,200	34,200	34,200	31,985
	(c) 増減額(b-a)	9,037	7,200	0	0	0
	(d) 繰越額	-	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	25,237	34,200	34,200	34,200	31,985
	B. 執行済額	25,237	33,320	32,041	34,200	31,618
	うち交付金充当額	20,189	26,656	25,632	27,360	25,294
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.4%	93.7%	100.0%	98.9%
予算の状況の説明	優良雌牛導入頭数を70頭とし、当初予算においては31,985千円を計上し、事業を執行した。事業実施の目的、効果、成果目標等の達成状況を鑑み適正であったと考える。					

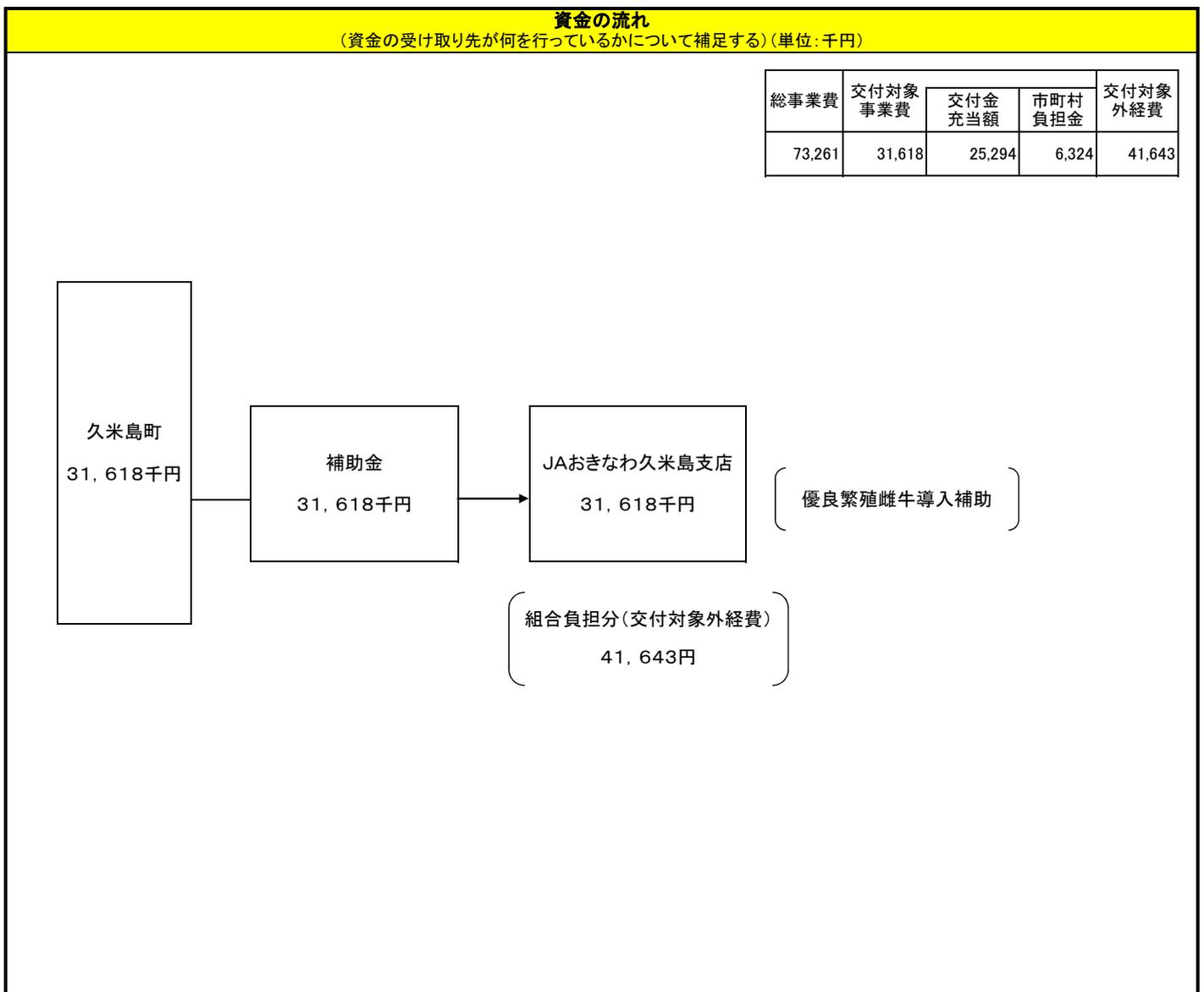
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		優良繁殖雌牛導入に対する補助	目標	(70頭)	(80頭)	(80頭)
		実績	75頭	74頭	81頭	73頭
		目標	()	()	()	()
		実績				

達成状況説明	令和元年度において優良繁殖雌牛の導入を行った。予定より安価に購入することができたため、目標の70頭に対し73頭導入することができた。
--------	--

成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		導入した優良雌牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	目標	()	(110%以上)	(107%以上)	()	()
			実績		107%	104%		
			目標	()	()	()	()	()
		実績						

進捗状況説明	優良雌牛から生まれた子牛の平均価格649,591円、そうでない牛から生まれた子牛の平均価格624,073円となっており、価格差は104%で目標値を達成できなかった。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・疾病等に起因する子牛の発育不良が、成果目標を達成できなかった大きな要因である。</p>	<p>・発育不良の子牛を減少させる為、衛生対策や飼養管理を徹底して実施する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・JAと連携し、衛生対策や定期的に飼養管理の指導を行い、本事業で導入した牛から生まれた優良な子牛を次の世代の母牛とすることで増頭や適切な更新を行うよう促し、畜産業の拡大・振興を図る。</p>		



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県農業協同組合であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は畜産業の進行を図る上で必要な経費であり、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は沖縄県農業協同組合久米島支店であり、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

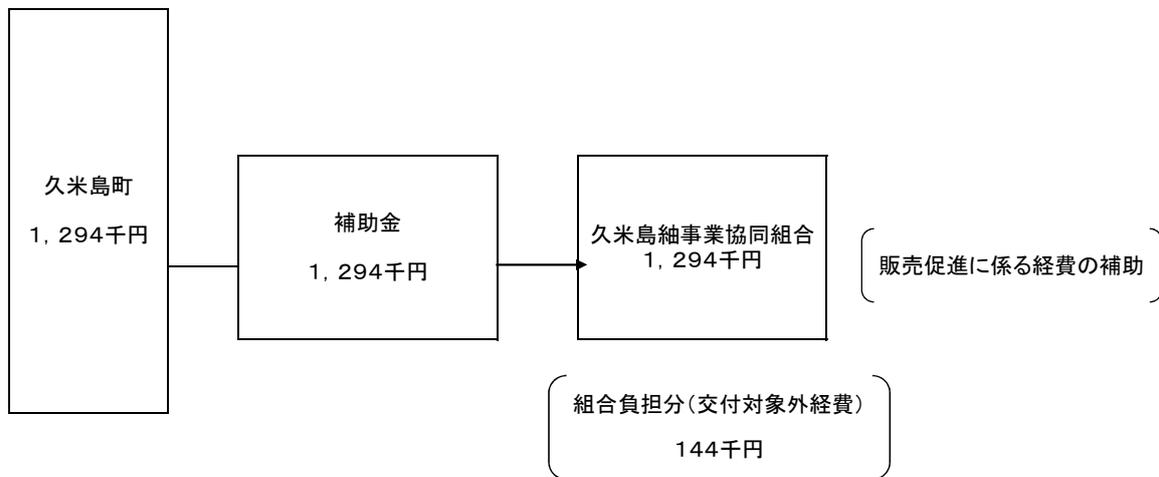
市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	久米島紬販売促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容	久米島紬及び関連商品の売上増加を図るため、販売会や問屋呉服店への販卸訪問等を行う久米島紬事業協同組合へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	4,194	1,530	2,500	2,579	1,692
	(b)予算現額	2,500	1,530	2,500	2,579	1,692	
	(c)増減額(b-a)	▲1,694	0	0	0	0	
	(d)繰越額	—	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	2,500	1,530	2,500	2,579	1,692	
	B.執行済額	1,868	1,068	1,797	1,810	1,294	
	うち交付金充当額	1,494	854	1,437	1,448	1,035	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	74.7%	69.8%	71.9%	70.2%	76.5%	
予算の状況の説明	・不用額398千円については旅費の減(展示会主催者から旅費支給があったため)によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	物産展等への出展	目標	(8回)	(8回)	(8回)	(出展)	
		実績	7回	8回	6回	4回出展	
	呉服店(問屋)へのセールス	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				別事業で実施	
	新商品の開発	目標	()	(6反)	(6反)	(開発)	
実績			6反	6反	6反開発		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展等について、県外へ4回出展し、紬製品の展示即売・実演など販路開拓にかかる取り組みを実施した。(主催者からの旅費支給があった展示会等の参加数は除いている) ・呉服店(問屋)へのセールスについては、東京、大阪にて各問屋呉服店へ紬製品の受注・展示会開催の提案を行った。(別事業で県外に行く機会と日程が重なったため本事業活用実績としての参加数を除いている) ・新商品の開発については、「久米島紬三色緋(草木染め)」といった商品を6反開発することができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	反物売上額	目標	()	(7,750万円)	(6,355万円)	(6,000万円以上)	()
		実績		6,430万円	6,017万円	6,962万円	
	小物売上額	目標	()	(1,650万円)	(1,489万円)	(1,500万円以上)	()
実績			1,610万円	1,542万円	1,040万円		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・反物売上額が6,962万円となり、大幅に目標を達成した。令和元年度は交付先である細組が創立50周年を迎えており、記念事業として展示会等を開催したことが主な要因であると考えられる。 ・小物売上額について、H28年度~H30年度まで大学の卒業記念品の発注があったが終了したことにより1,040万円となり、目標を達成することができなかった。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・小物売上額が未達成のため、卒業記念品やそれに代わる小物発注先の開拓が課題である。 ・新たな小物商品の開発等を実施したことにより、さらなる需要の高まりが見込まれるが、注文を受けても製作可能な織子に限りがあるため、生産数量に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業記念品としての受注は実績があり今後も実施しやすいため、発注先として学校機関への営業を行う。 ・需要の高まりに対応すべく、生産数量および売上増加を図るため織子の製作技術向上を強化する取組が必要である。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・本町と関わりのある学校機関に対して、卒業記念品として細製品発注の提案を行う。 ・生産数量の安定化を図るため、織子のスキルアップを目的とした講習会の開催を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,438	1,294	1,035	259	144



資金の 用途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である細組合は、細製造業従事者により組織され、実績及び知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は生じたものの、旅費の減によるものであり、予算規模は久米島細の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である細組合は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

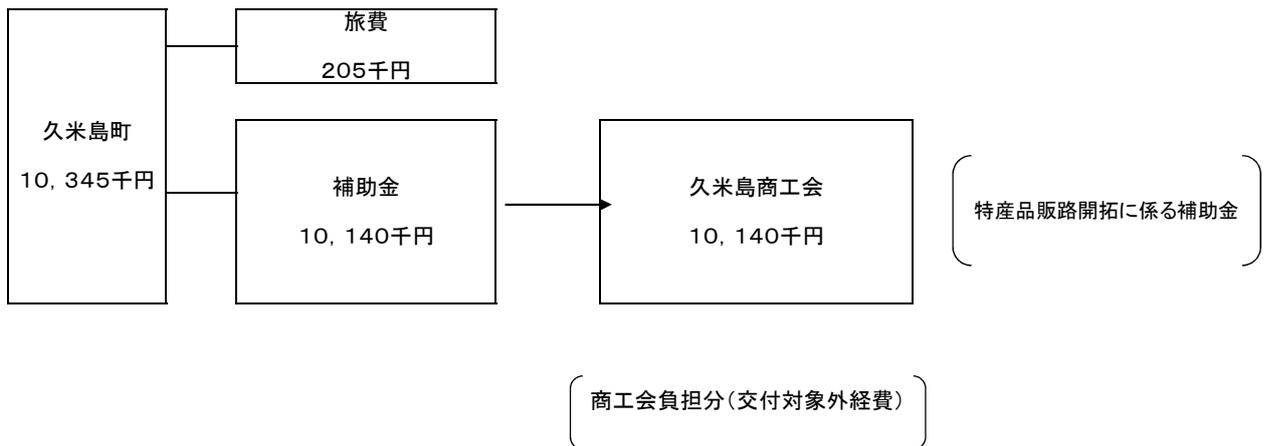
市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	久米島特産品販路開拓事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化	
事業内容	島の特産品の売上増加を図るため、現代ニーズに合わせた商品の開発、特産品の販路拡大に向け久米島商工会が行うPR活動へ支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	11,543	22,083	11,090	10,229	11,838
		(b) 予算現額	20,103	8,875	9,319	10,229	11,838
		(c) 増減額(b-a)	8,560	▲ 13,208	▲ 1,771	0	0
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		20,103	8,875	9,319	10,229	11,838
	B. 執行済額		19,212	8,825	7,986	9,425	10,345
	うち交付金充当額		15,369	7,060	6,388	7,540	8,275
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.6%	99.4%	85.7%	92.1%	87.4%
予算の状況の説明		不用額は、予定していた物産展への出展回数減によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・県内外での物産展開催、出展	目標	(10回)	(8回)	(8回)	(8回)	
		実績	6回	6回	6回	6回	
	・特産品紹介パンフレット製作	目標	()	(10,000部)	(10,000部)	(韓国語版・7,000部)	
実績			10,000部	7,000部	韓国語版・7,000部		
達成状況説明	・県内外での物産展について、県外へ2回、県外へ4回出展し、島の特産品のPRを実施した。また、商工会青年部・女性部による販路開拓活動を計画していたが、特産品の在庫数や参加する会員のスケジュールとの兼ね合いから開催時期や開催場所の調整が付かず実施を見合わせたため、目標の8回に届かなかった。 ・パンフレット(韓国語併記)は目標部数を印刷し、各事業所への配布と各催事での配布を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	開催、出展した物産展等における販売額	目標	()	(33,000千円)	(28,440千円)	(26,450千円以上)	()
		実績		25,866千円	29,308千円	32,689千円	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・物産展等の販売額は毎年増加傾向にあり、今年度も目標値を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに開催した物産展(県内)について、開催場所がビジネス街ということもあり観光客の集客が難しかった。また、開催時期の夏季は繁忙期であるため参加事業所も限られる。 ・R1年度で7回目を迎える物産展(県内)は来場者および売上は増加傾向にあったがR2年度は減少している。周知不足と天候不良が要因だと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに開催した物産展について、観光客の数とは反対にビジネスマンが多く訪れ平日の売上が良かったため休日開催から平日開催に検討する必要がある。 ・物産展について、開催場所としては定着しておりリピーターも増えているため、周知方法や周知時期を見直すことで来場者数増加に繋げる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期・開催場所を再度検討し、満足度の高い物産展の開催に向けて事務局・所管課・出展業者で協議していく。 ・周知時期の見直しとして、直近の催事として離島フェアがあるが、そこでチラシ等の配布を行うことで周知不足を解消する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,472	10,345	8,275	2,070	1,127



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は商工事業者によって組織され、実績、知識等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定していた物産展への出展回数減により不用が生じたが、予算規模は久米島軸の振興を図る上で必要な経費であり適正な規模であった。
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である商工会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断して妥当であった。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については清算段階で検査をしており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	地域型就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進		
事業内容	児童生徒の就業意識の向上を図るため、児童生徒を対象としたキャリア教育等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	(a) 当初予算額	9,030	10,116				
	(b) 予算現額	9,030	10,116				
	(c) 増減額(b-a)	0	0				
	(d) 繰越額	-	0				
	A. 計(b+d)	9,030	10,116				
	B. 執行済額	9,030	10,116				
	うち交付金充当額	7,224	8,093				
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%				
予算の状況の説明	当初計画した事業内容を執行したほか、事業目標および活動目標の達成状況を鑑み、適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①ジョブシャドウウイング(小)	目標	(ジョブシャドウウイングの実施)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	②職場体験(中)	目標	(職場体験実施・支援)	(実施)	()	()	
		実績	実施	実施			
	③インターンシップ、職業人講話、合同企業説明会(高)	目標	(久米島高校との連携)	(実施)	()	()	
		実績	実施	一部未実施			
	④職業体験イベント(小)	目標	(職業体験型イベントの開催)	(開催)	()	()	
		実績	実施	開催			
⑤リーダー育成プログラム(小中高)	目標	(リーダー育成プログラム)	(実施)	()	()		
	実績	実施	実施				
⑥教員向け研修会(小中)	目標	(小中学校教員向け研修会)	(実施)	()	()		
	実績	未実施	実施				
⑦グッジョブ連携協議会	目標	(協議会の開催)	(開催)	()	()		
	実績	実施	開催				
達成状況説明	・③久米島高校と連携した合同企業説明会については、島内就職希望者がいなかったことから開催することができず、未実施となった。その他の活動については、計画通り執行できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	各種取組に参加した児童生徒へアンケートを実施し、就業に対する意識が向上したと回答した割合(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実績		小中高平均86.6%	小中高平均84.6%		
進捗状況説明	・本事業を通して就業に対して良い印象を抱いた割合は小学生が96%、中学生が66%、高校生が92%となり、平均84.6%で目標数値を上回った。なお、中学生のうち事業実施前から就業に対して良い印象を抱いている生徒の割合は25%であり、当事業に大きな効果があったことがわかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・グッジョブ連携協議会は行政・教育機関・経済団体に構成され、幼いうちから「働くこと」に対する意識付けを行い、「故郷のために働きたい」と思えるような郷土に愛着をもてる児童生徒の育成を目指し、実施内容の確認や進捗報告、改善点の洗い出し、新たな意見を募る等、本事業について熟議を交わすため年2回の会議を開催しているが、会員が変わる際に協議会の存在意義や本事業の趣旨などが十分に引継がれていない印象である。 ・本事業の副次効果に将来の島内産業人口の確保があるが、現状島内就職希望率が低いことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後任となった会員に対し、協議会や本事業趣旨の理解を深める取組を検討する必要がある。 ・島内就職希望率増加に向けて、島内産業の魅力を伝える取り組みの強化を検討する。

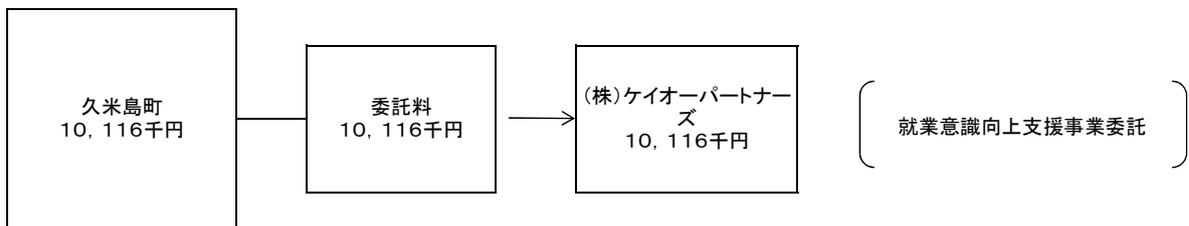
今後の取り組み方針

・グッジョブ連携協議会として、若年層の就業意識の要因の追求、地元へ愛着をもつ児童生徒の育成という目的のもと協議会に参加してもらうため、変更のあった会員に対し、年度初めに協議会の意義や事業趣旨の説明を行う。また、協議会は年2回しか開催しないため、学期終了ごとなど定期的な会議を検討する。

・講話や各種取組以外に島内産業の魅力を伝える方法を協議会や受入事業所と協議し、検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,116	10,116	8,093	2,023	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、ノウハウ等を勘案した上で随意契約により選定しており妥当であると考えます。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○事業内容から判断しても妥当であった。 費目、使途については清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	久米島観光誘客支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光誘客を図るため、観光案内及び観光広報活動を行う。併せて、町内で開催する観光関連イベントへ補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a) 当初予算額	6,034	16,963	13,391	12,030	10,520	
	(b) 予算現額	14,246	16,563	11,391	9,041	8,882	
	(c) 増減額(b-a)	8,212	▲ 400	▲ 2,000	▲ 2,989	▲ 1,638	
	(d) 繰越額	—	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	14,246	16,563	11,391	9,041	8,882	
	B. 執行済額	13,363	16,265	9,883	7,517	7,957	
	うち交付金充当額	10,690	13,011	7,906	6,013	6,365	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.8%	98.2%	86.8%	83.1%	89.6%	
予算の状況の説明	当初計画していたイベント内容の見直しにより、1,638千円の減額を行った。不用額925千円は、観光関連イベントの旅費削減によるものである。 予算規模は活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・久米島空港観光案内業務	目標	(2名)	(2名)	(3名)	(3名)	
		実績	7名	5名	3名	3名	
	・観光広報活動	目標	(7件)	(5件)	(11件)	(6件)	
		実績	7件	8件	7件	6件	
・イベント補助	目標	(3件)	(2件)	(1件)	(2件)		
	実績	3件	2件	1件	2件		
達成状況説明	・久米島空港観光案内業務では、空港案内所にて3名体制で、本町に訪れる観光客等に対する観光案内に加え、台風等の非常時に際しての対応を図った。 ・観光広報活動では、県内での(観光物産展などの)イベントにも積極的に参加し、観光レディやゆるキャラ"く~みん"の派遣をしポスター掲示やパンフレット配布及び観光案内所を開設しPRをした。県外では本町とプロ野球春季キャンプ地として繋がりのある仙台市での物産展にも参加を対応した。 ・イベント補助では、ハワイアンフェスティバル、のんびりウォークの開催を行い、全国から愛好家を誘客をした。のんびりウォークではウォーキング協会のブログやスポーツエントリーWEB等での告知及び申込設置を行い、誘客を図った。ハワイアンフェスティバルでは、全国のフラダンス教室へのDMや愛好家の愛読雑誌への広告掲載を行い誘客を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		①観光入域数	目標	()	(112,000人)	(123,000人)	(123,073人)
		実績		109,742人	103,309人	100,716人	
	②イベント参加人数(島外からの参加者)	目標	()	(609名)	(394名)	(355名)	()
	実績		579人	201人	318人		
進捗状況説明	(観光入域数) ・入域観光客数は、イベント開催や久米島観光のPRを行ったが、新型コロナウイルスの影響もあり目標に届かなかった。 (イベント参加人数(島外からの参加者)) ・ハワイアンフェスティバルは全国のフラダンス教室へのDM送信などからリピーターの参加を促すことができ、島外、県外からの誘客を図ることが出来たが目標値355人に届かなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(観光入域数) ・観光レディやゆるキャラの派遣を行いながら、県内外のイベントで観光PRを行っているが、入域数が伸び悩んだ。また新型コロナウイルスの影響で入域数が落ち込んだ。	(観光入域数) ・県内外のイベントの中でも旅行や物産展だけでなく、効果的なPRができるイベントを精査し、参加が必要であるとする。
	(イベント参加人数(島外からの参加者)) ・島外参加率は年々上昇傾向にあるが、目標値355人には届かなかった。参加者数と入域数の目標未達成の原因として、沖縄本島での幅広い層への周知広報の不足によるものと考えられる。	(イベント参加人数(島外からの参加者)) ・WEB及び関係機関への情報提供を行い、さまざまな形で告知を行う必要がある。久米島を知らない目的型観光のお客様も誘客ができるきっかけを作る。

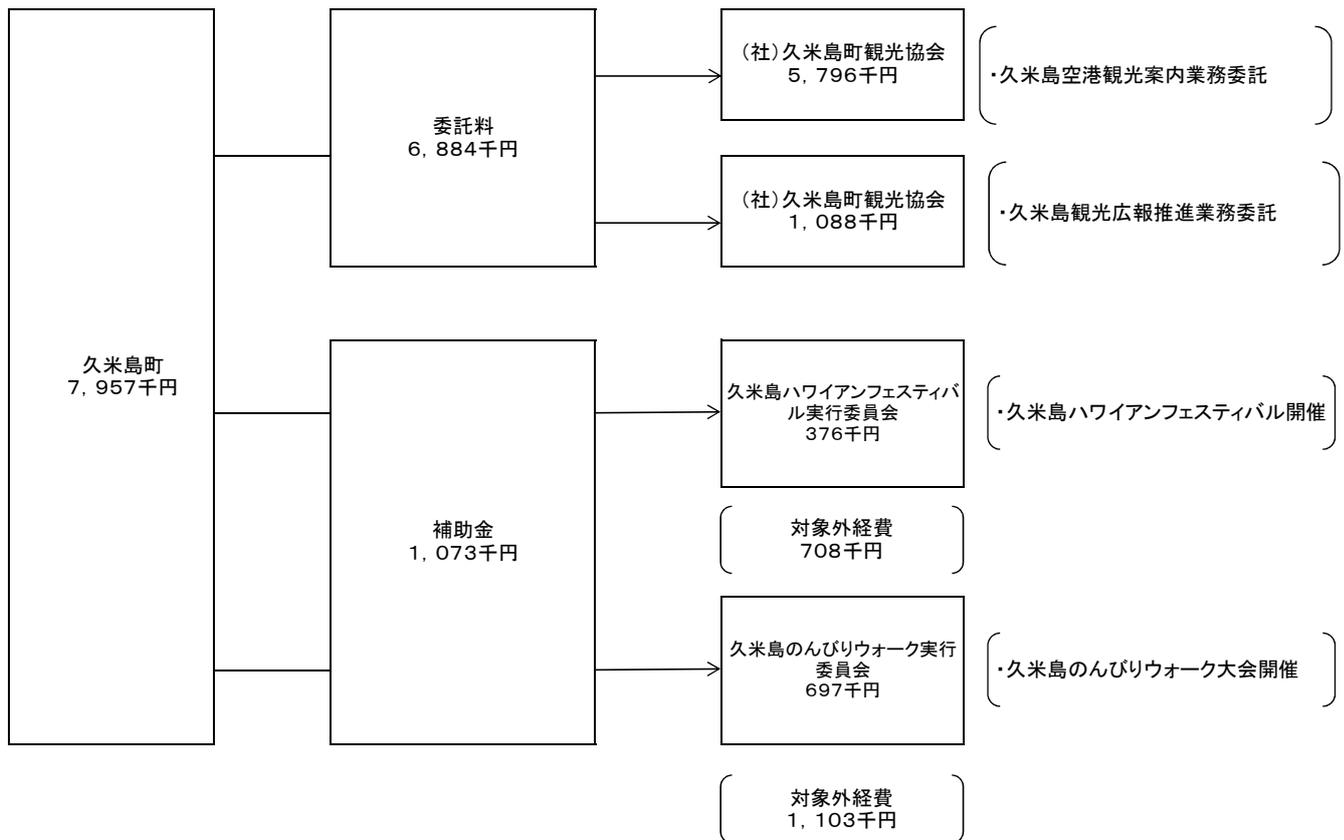
今後の取り組み方針

(観光入域数)
・観光PRを効率的かつ効果的に行えるイベントを精査し、広報活動に取り組む。また、観光のお客様の声を反映し、ニーズに合った改善を関係者へ促していく。

(イベント参加人数(島外からの参加者))
・イベントの告知方法について検討し、幅広い層への広報活動が行えるよう取り組むとともに、イベント参加者のニーズに応え魅力あるイベントにするため、アンケートをもとにイベントの内容の改善を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,768	7,957	6,365	1,592	1,811



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○当初計画していたイベント内容を変更したため事業費を減額したが、予算規模は観光誘客に必要な経費であり、適正な希望であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は総事業費の4割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	久米島観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)イ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開	
事業内容	久米島町の認知度向上により観光誘客を図るため、久米島観光の魅力を各種メディア媒体で情報発信する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	26,244	28,244	25,380	32,994	19,046
		(b) 予算現額	23,760	28,244	25,380	27,187	17,686
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2,484	0	0	▲ 5,807	▲ 1,360
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		23,760	28,244	25,380	27,187	17,686
	B. 執行済額		23,112	28,134	25,380	27,187	17,686
	うち交付金充当額		18,489	22,507	20,304	21,749	14,149
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.3%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		・1,360千円の減額は、広告の種類や配信方法の変更の見直しをしたことによる委託料の減である。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	国内向けプロモーション	目標	(1社)	(2社)	(2社)	(実施)	
		実績	2社	2社	2社	実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・web広告では、「カラダに、ココロに、おいしい久米島」を題材にし、大手旅行会社宿泊予約サイト「じゃらんnet」以外のSNSやニュースアプリでも久米島の魅力を発信するページや企画をし情報発信をした。 ・旅行雑誌「じゃらん沖縄ムック2020」への特集ページを制作し、掲載した。 ・テレビ番組では、久米島の食の認知度向上に向け、「めざましテレビ」「食彩の王国」の2本を放映した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光入域数	目標	()	(123,000人)	(123,073人)	()	()
		実績		103,309人	100,716人		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・トップシーズンの入域数を伸ばすことが出来ず、観光入域数が落ち込む結果となった。また新型コロナウイルスの影響も含め、大幅に入域数が減となり、目標を達成することができなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・WEB、TV、雑誌、広告等媒体を活用し、認知度向上のため、より特化したテーマでプロモーションを行っているが、入域観光客数が落ち込んでいる。市場におけるマーケティングや観光入域における満足調査などがなされておらず、観光プロモーションや誘客が戦略的に取り組まれていないことが要因と考えられる。</p>	<p>・効果的な戦略を構築し、観光客のニーズの把握や、国外へのプロモーションを展開し、入域観光客の増加に繋げる必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・第2次久米島町観光振興計画に基づき、観光誘客に効果的な情報発信、プロモーションを行うための観光客のニーズ調査や現状調査を行う。また、国内の来訪未経験者のみならず、インバウンド誘客として海外WEBでの情報発信や、効果的なプロモーションを行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
17,686	17,686	14,149	3,537	0
<pre> graph LR A[久米島町 17,686千円] --> B[委託料 17,686千円] B --> C["(株)リクルートライフスタイル 沖縄 17,686千円"] subgraph D [] C end </pre>				

資金の 用途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者はプロポーザル方式により、企業組織や実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は観光振興に必要な額であり、適正な規模だった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から書類による支出等確認を行い、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	体験交流型観光商品開発販売促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)ア		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	修学旅行の受入増加及び観光関連商品の売上増加を図るため、修学旅行の誘致及び観光体験プログラムの販売促進を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,963	18,260	10,101	10,062	7,841
		(b) 予算現額	18,963	17,947	9,038	8,537	5,184
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 313	▲ 1,063	▲ 1,525	▲ 2,657
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		18,963	17,947	9,038	8,537	5,184
	B. 執行済額		15,217	16,294	8,047	6,172	3,890
	うち交付金充当額		12,173	13,035	6,437	4,937	3,112
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		80.2%	90.8%	89.0%	72.3%	75.0%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画した事業内容の見直しと、旅費の削減により、2,657千円を減額した。 ・見込んでいた修学旅行生数を誘致できず、修学旅行助成金が大幅に減となり、不用が生じた。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	修学旅行の誘致	目標	(修学旅行の誘致)	(修学旅行の誘致)	()	()	
		実績	修学旅行の誘致	修学旅行の誘致			
	体験プログラムの販売促進	目標	(体験プログラムの構築)	(体験プログラムの販売促進)	()	()	
		実績	体験プログラムの構築	体験プログラムの販売促進			
民泊受入体制の整備、強化	目標	(受入整備、強化)	(受入整備、強化)	()	()		
	実績	受入整備、強化	受入整備、強化				
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の誘致は、計画的に県内、県外の商談会の参加、旅行社への営業を行った。 ・体験プログラムの販売促進は、主にGWの東京-久米島直行便就航期にて、空港にて集中的にチラシ配布を行った。また、新規体験プログラムの造成に着手し、4つの新規体験プログラムを造成した。 ・民泊受入体制の整備、強化は、おもてなし講座や応急救護講座を行い、受入環境の整備を図った。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	①修学旅行の受入校	目標	()	(10校以上)	(11校以上)	(10校以上)	()
		実績		7校	7校	4校	
	②体験プログラム売上額	目標	()	()	()	(3,591,782円以上)	()
		実績				3,464,292円	
	【参考指標】体験プログラム利用者数	目標	()	(1,500人)	(1,823人以上)	()	()
		実績		1,506人	1,759人		
	【参考指標】民泊事業者数	目標	()	()	(38戸以上)	()	()
実績				43戸			
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の誘致活動を行ったが、受入学校数は4校で目標に届かなかった。 ・体験プログラムでは、個人旅行での利用者数と売上額は昨年度を上回ったが、全体としては目標には届かなかった。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(修学旅行の受入校) ・大規模校の修学旅行では、航空機輸送について金額と機材の収容人数や便数の問題が、以前より課題であり、新規顧客の懸念点となっている。 ・修学旅行誘致の際に、教育旅行民泊の要望が多いが、今年度は新規の受入民家を見つけることが出来なかった。今後も新規教育旅行民泊受入民家獲得が修学旅行誘致の課題となる。	(修学旅行の受入校) ・大規模校を誘客するために、新造船の就航(令和元年7月)を活用したフェリー-来島の提案を行う。また、航空会社と協議し、那覇-久米島間の臨時便の運用を検討する必要がある。 ・新規民泊受入家庭の獲得、休眠民家の掘り起こしを検討する。
	(体験プログラム売上高) ・修学旅行校の減少により、GWの東京-久米島直行便就航期にターゲットを絞り告知を行った。一般旅行者の利用者が高まり、目標達成までは至らなかったが、目標値近くまで売上を上げることができた。今後、繁忙期の一般旅行者と閑散期の修学旅行の獲得が体験プログラムの売上に関わると考える。	(体験プログラム売上高) ・一般旅行者や修学旅行等プログラム利用者への告知、周知に向けた施策を検討する。

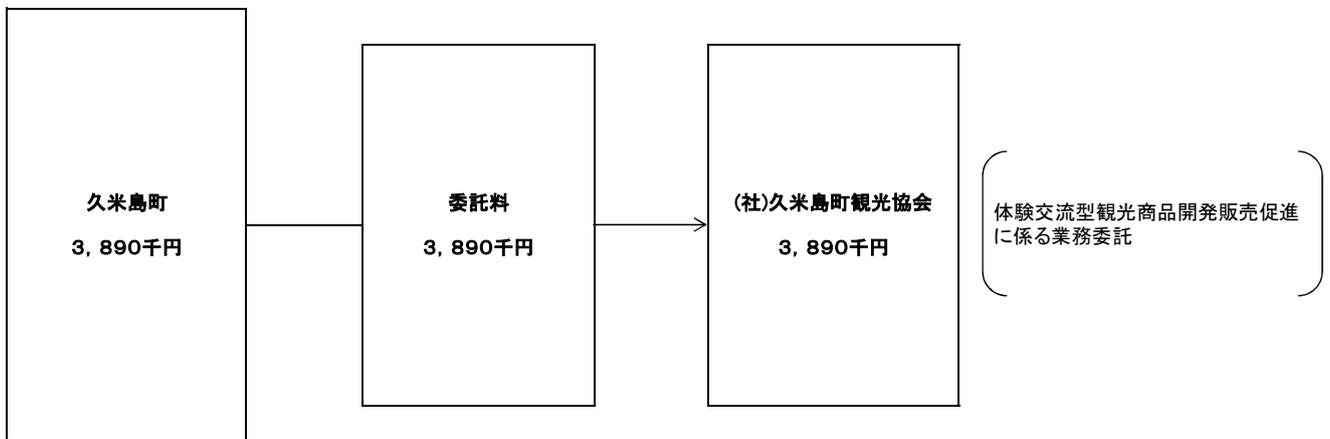
今後の取り組み方針

(修学旅行の受入校)
・大規模校の誘客において那覇-久米島間の移手段を協議するとともに、フェリー移動の際の船内プログラムを構築し、実施する。
航空会社とは、修学旅行者の島内での時間を充実させ、満足度を高めるためにも、移動時間短縮に伴う那覇-久米島間の臨時便の運用を検討する。
・新規民泊受入家庭を増やすために、沖縄県教育旅行民泊取扱指針に基づいた、民泊説明会・食品衛生講習会・安全対策講習会等を実施する。

(体験プログラム売上高)
・体験プログラムでは、一般旅行者への利用を広げるために、観光協会HPや観光案内所での窓口を活用し、販売促進を積極的に行っていく。
修学旅行向け体験プログラムでは、旅行代理店や学校向けに専用体験プログラム紹介資料を配布し、販売していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,890	3,890	3,112	778	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は特殊な業務内容であったため、随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は新型コロナウイルス感染症等の影響による修学旅行生の減であり、目標を達成するために必要とされる適正な予算規模になっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	久米島観光危機管理体制構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)イ		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	災害時における観光客等の安全を確保を図るため、久米島町観光危機管理計画を策定する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R1年度	R2年度	R3年度			
		(b)予算現額	9,104					
		(c)増減額(b-a)	8,921					
		(d)繰越額	▲183					
		A.計(b+d)	-					
	B.執行済額		8,921					
	うち交付金充当額		7,136					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
	予算の状況の説明		当初計画していた久米島町観光危機管理計画の策定は完了しており、当初計画した活動目標、成果目標を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度			
	関係事業所勉強会	目標	(勉強会の開催)	()	()	()		
		実績	勉強会の開催					
	庁内検討委員会	目標	(検討委員会の開催)	()	()	()		
		実績	検討委員会の開催					
	観光危機管理対応訓練	目標	(訓練の実施)	()	()	()		
		実績	訓練の実施					
	観光危機管理計画の策定	目標	(計画の策定)	()	()	()		
		実績	計画策定完了					
達成状況説明	予定していた活動計画をすべて実施することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R2年度)	
	久米島町観光危機管理計画の策定完了	目標	()	(策定完了)	()	()	()	
		実績		策定完了				
	【R2成果目標】避難訓練を実施し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	()	(80%以上)
	進捗状況説明	島内観光事業所への勉強会や、ヒヤリング、避難訓練を通して、計画通り久米島町観光危機管理計画の策定をすることができた。						

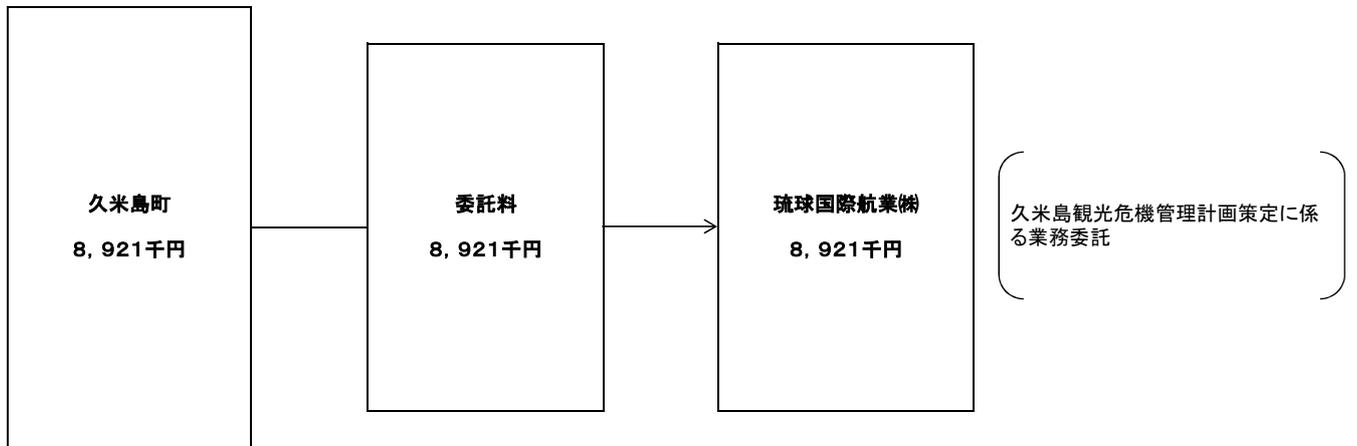
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>自然災害や人的災害などの観光危機に対応するための基本的な方針をまとめ、久米島町観光危機管理計画を策定した。 今後は計画の効果的な実現に向け、観光事業者や町民が協働して取り組んでいく必要があるが、観光事業者の観光危機に対する意識がまだ低く、勉強会や避難訓練に参加する事業者が少ないことが課題である。</p>	<p>勉強会や、避難訓練の観光事業者参加率を高めるため、どのような広報が有効的か検討する。</p>

今後の取り組み方針

久米島町防災訓練と同日に観光危機訓練も行い、年数回の勉強会も計画する。また、観光関連事業者に対して観光危機の意識を高めていくために事業者への広報も含めどのような勉強会、訓練が行えるか検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,921	8,921	7,136	1,785	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は、プロポーザル方式にて選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模は目標を達成するために必要とされる適正なものとなっている。 ○費目、用途については事業目的達成の観点から必要なものなのかについて、額の確定時において支出に関する書類等により確認し適正であったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

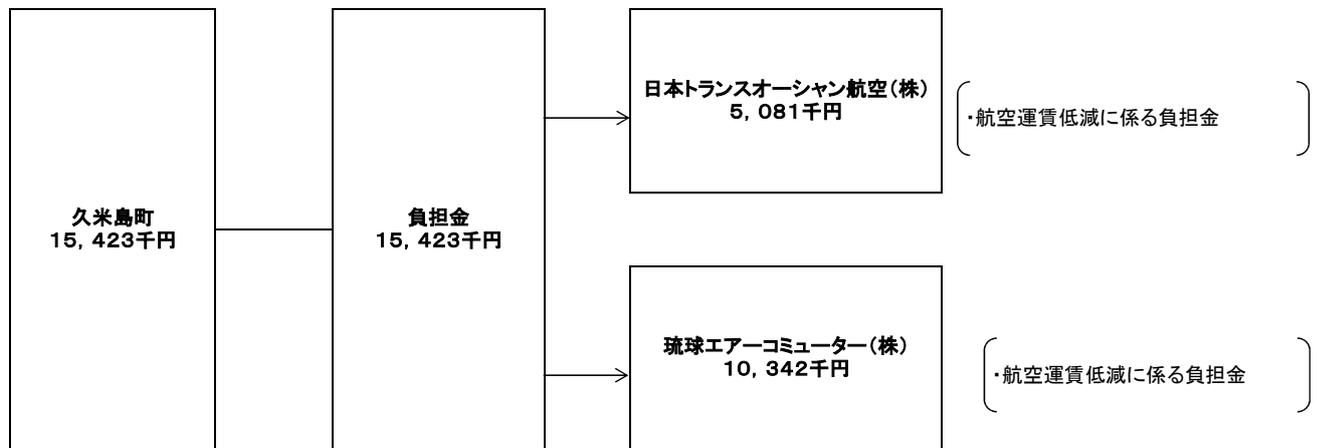
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	航空運賃コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	交流人口の増加を図るため、久米島へ来訪する人の航空運賃の負担を軽減させ、航空事業者が運賃を割り引いて販売した際の減収分を町が負担金として支払う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(b) 予算現額	20,000	19,000			
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,000	▲ 2,000			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計(b+d)	17,000	17,000			
		B. 執行済額	15,536	15,423			
		うち交付金充当額	12,428	12,338			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	91.4%	90.7%			
		予算の状況の説明	台風等の自然災害の影響による欠航を考慮し、2,000千円を減額したものの、新型コロナウイルス等の影響もあり搭乗者が見込めず1,577千円の不用額が生じた。				
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		航空会社が実施する交流人口の航空運賃割引に対して補助を行う。	目標	(航空運賃の補助)	(航空運賃の補助)	()	()
		※交流人口とは、島民以外の人で久米島町を訪れる人のことをいい、レジャー目的旅行者の他、ビジネス客等を含む。	実績	航空運賃の補助	航空運賃の補助		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・予定通り航空運賃の補助を実施することができた。旅客利用者は34,427名であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	()	(123,000人以上)	(124,000人以上)	()	()
		実績		103,309人	100,716人		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	台風等の自然災害による欠航や新型コロナウイルスの影響での活動自粛により来島者が減となり、目標を達成することができなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>台風等の自然災害による欠航や新型コロナウイルスの影響での活動自粛により久米島町への入域者数が減となり、目標を達成することができなかった。</p> <p>なお、空路の利用者は3.2%の減であったが、令和元年7月に新造船が就航したことにより、航路による交流人口は8.6%増加している。</p>	<p>特に3月の観光入域者数の減少が著しく、前年度比で約2,000人減の78.4%となっている。新型コロナウイルスの影響がなければ目標値を達成していた可能性もあり、今後も本事業による取り組みを継続していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>今後も本事業を活用し、観光入域者及び交流人口の増加を図り、「第2次久米島町観光振興基本計画」の達成及び地域活性化を促進していく。また、観光誘客に係る各施策を実施し、更なるスポーツイベントの誘致や観光メニューの開発にも取り組んでいく。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,423	15,423	12,338	3,085	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については久米島と沖縄本島を結ぶ航空会社2社であり、費用負担の協定書を締結しており、選定方法は妥当である。</p> <p>○新型コロナウイルス等の影響により搭乗者数が伸びず不用が生じたが、予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については、事業目的の観点から清算時に精査しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	子育て支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	町民や観光客等の利便性確保を図るため、町民や観光客等が安心して遊べる公園を整備(東屋、トイレ、遊具の設置等)する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	42,064	-		6,416	96,572
	(b)予算現額	65,274	-		7,940	86,978	
	(c)増減額(b-a)	23,210	-		1,524	▲ 9,594	
	(d)繰越額	0	38,880		0	0	
	A. 計(b+d)	65,274	38,880		7,940	86,978	
	B. 執行済額	26,281	38,880		7,939	86,978	
	うち交付金充当額	21,024	31,104		6,351	69,582	
	次年度繰越額	0	0		0	0	
	執行率(%) (B/A)	40.3%	100.0%		100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初設置予定していた公園内照明(10基)が複合遊具等の設置の際に支障が出るので、複合遊具等の設置完了後に照明柱等を設置することとした理由により、引き込み柱及び照明柱工事費を9,594千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	公園造成工事	目標	()	(公園整備工事)	()	()	
		実績		公園整備工事完了			
	公衆用便所新築工事	目標	()	(公衆用便所新築工事)	()	()	
		実績		公衆用便所新築工事完了			
実施設計の完了	目標	(実施設計)	()	()	()		
	実績	実施設計の完了					
達成状況説明	公園内造成、進入路、駐車場及び公衆用便所新築工事、公園照明柱の配管及び基礎部分を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)	
		目標	()	(完了)	()	()	()
	実績		完了				
	公園造成工事完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	公衆用便所新築工事完了	目標	()	(完了)	()	()	()
実績			完了				
【R3成果目標】 施設の整備により利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)	
進捗状況説明	公園造成形成、進入路及び駐車場を整備し、公衆用便所を新築した。						

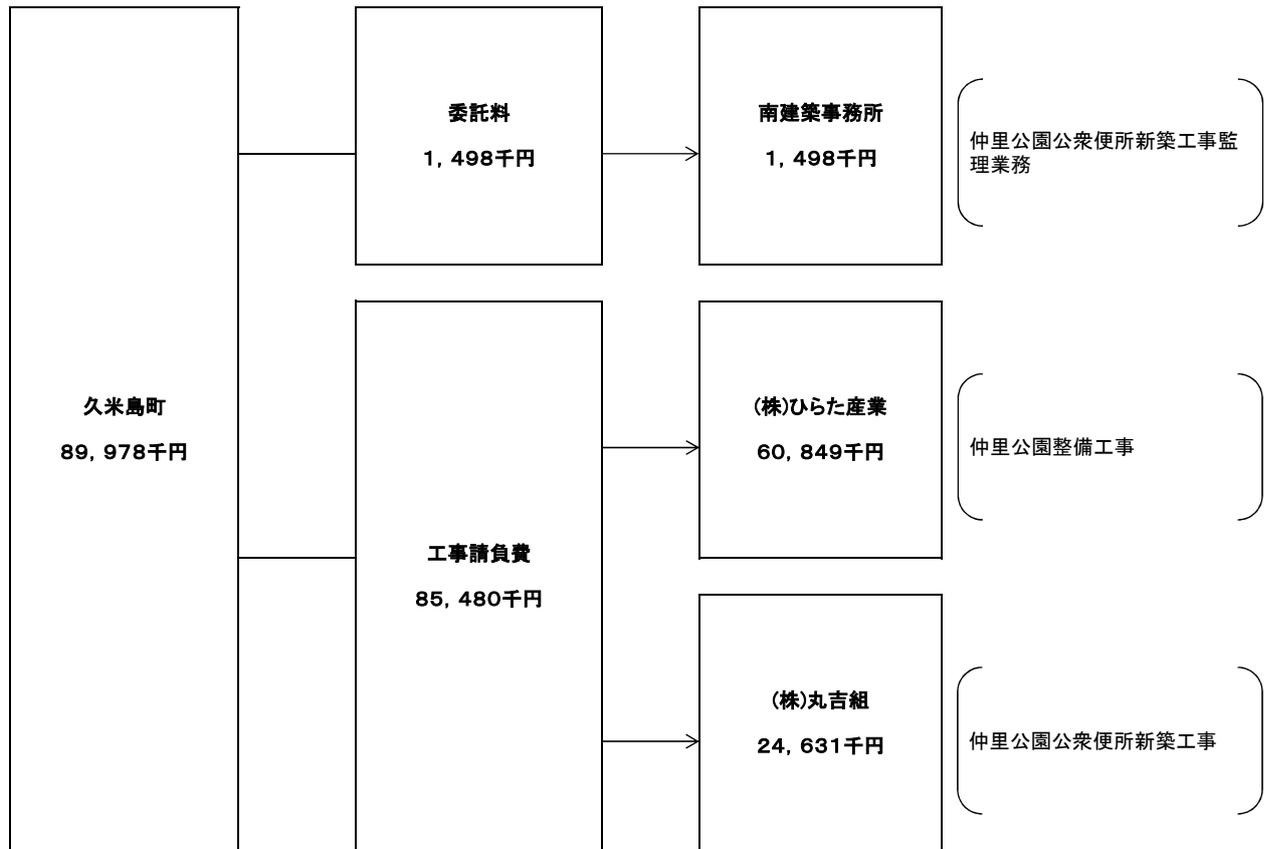
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本町の少子化対策の一つとして、安心・安全に遊べる公園を整備するため、令和元年度は公園造成工事や公衆用便所新築工事を実施した。	令和2年度は遊具等の設置工事を実施し、令和3年度の共用開始に向けて適切に事業を進めていく。

今後の取り組み方針

令和2年度は、園内に複合遊具等の設置、園内照明設置及び芝張り工事を行うことで、安心・安全に遊べる公園を整備し、子育て環境の充実を図る。また、共用開始後の令和3年度において、利便性が確保されたかを含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
86,978	86,978	69,582	17,396	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・施工事業者は町に提出されている入札参加資格審査業者より指名委員会で審査し選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	4-③		久米島霊園整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)ア			
	担当部署名	環境保全課	事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり Ⅲ-9			
事業内容	墓地の散財化抑制及び集約化を行い景観の保全を図るため、霊園施設を整備する。								
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()								
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度		R2年度		R3年度	
		(a) 当初予算額	4,500	24,600					
		(b) 予算現額	4,500	16,524					
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 8,076					
		(d) 繰越額	0	0					
		A. 計 (b+d)	4,500	16,524					
		B. 執行済額	4,104	16,504					
		うち交付金充当額	3,283	13,203					
		次年度繰越額	0	0					
		執行率 (%) (B/A)	91.2%	99.9%					
予算の状況の説明		官庁施設の設計業務等積算基準の改定により、設計委託費を8,076千円減額した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	久米島霊園(納骨堂)の実施設計		目標 ()	(実施設計完了)	()	()			
			実績	実施設計完了					
	霊園整備基本計画の策定		目標 (基本計画の策定完了)	()	()	()			
			実績	基本計画の策定完了					
達成状況説明	久米島霊園(納骨堂)の建築及び道路の実施設計を発注し期限内に完了した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)		
	久米島霊園(納骨堂)の実施設計完了		目標 ()	(完了)	()	()	()		
			実績	完了					
	【R3成果目標】 霊園施設利用世帯		目標 ()	()	()	()	(16世帯以上)		
	進捗状況説明	久米島霊園(納骨堂)の建築及び道路の実施設計を完了した。							

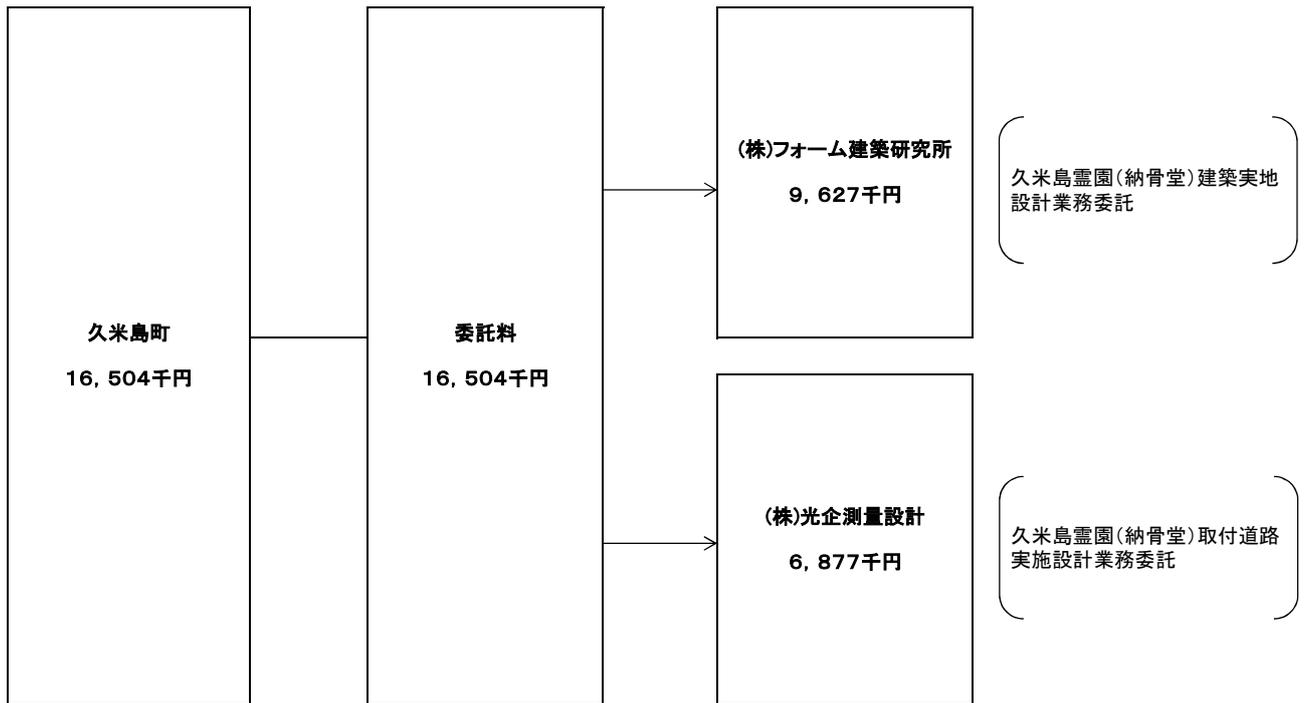
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和元年度は、久米島霊園(納骨堂)の実施設計を完了した。令和2年度は、建築及び取付道路の竣工を予定しており、令和3年度の供用開始に向けて準備を進めていく必要がある。	町民がスムーズに霊園施設を利用できるよう、あらかじめ利用方法等の説明を行い、規定等を整備する。

今後の取り組み方針

竣工前より町広報誌及びHPにて当該施設の利便性及び使用方法を町民に周知するとともに、施設運営に必要な条例や規定等の整備を行い、供用開始後の事業効果早期発現を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,504	16,504	13,203	3,301	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名審査委員会で審査後に指名しており業者選定は妥当であった。 ○予算規模は、目標を達成するために必要とされる適正な予算規模であった。 ○費目、使途については事業目的に即し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	防災情報収集発信体制整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9		
事業内容	災害時における町民及び観光客等の安全を確保を図るため、災害発生時における情報の収集及び発信を効率的・効果的に行うための防災情報システムを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	8,650		8,571		
		(b)予算現額	8,465		8,571		
		(c)増減額(b-a)	▲185		0		
		(d)繰越額	0		-		
		A. 計(b+d)	8,465		8,571		
	B. 執行済額		8,424		8,140		
	うち交付金充当額		6,739		6,512		
	次年度繰越額		0		0		
	執行率(%) (B/A)		100%		95.0%		
予算の状況の説明		・入札残により431千円の不用が生じた。 ・当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成目標を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	久米島町防災情報システム実施設計	目標	(実施設計)	()	()	()	
		実績	実施設計完了				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・H29年度に策定した防災情報収集・発信体制整備計画に則り、情報収集・情報配信システム構築実施設計を行った。 ・詳細設計における、無線設備・通信回線・空中線柱等設計等の基本事項を決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)
	久米島町防災情報システム実施設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R3成果目標】 町民及び観光客等が参加する避難訓練を実施(1回以上/年)し、参加者が安全・確実に避難行動をとることができたか(80%以上)を含め、アンケートで本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	()
進捗状況説明	・久米島町防災情報システム実施設計を完了した。次年度は整備工事を行い、訓練等に活用し緊急時等に備える。						

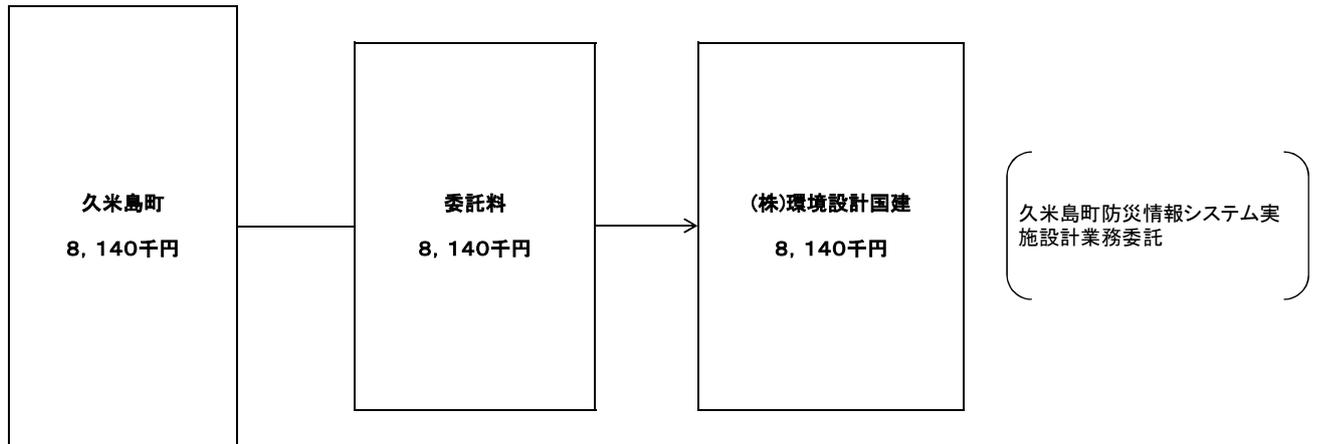
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和元年度は防災情報収集・情報配信システム構築実施設計を行った。令和2年度は防災情報システムの機器整備工事を実施し、災害時や近年の大雨警報・台風待機等に利活用できる体制を整える。	令和3年度の供用開始に向けて防災情報システムを整備するとともに、当該システムを活用した訓練等を実施するため、関係機関との調整を行う。

今後の取り組み方針

令和2年度は、災害時における町民及び観光客等の安全を確保するため、防災情報システムの機器整備を完了する。整備後は、当該システムを活用して町民及び観光客等が参加する防災訓練を実施するほか、学校や福祉施設等においても避難訓練などで利活用できるよう関係機関と調整を進めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,140	8,140	6,512	1,628	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 実績のある業者を選定し指名競争入札を行っており、支出先の選定方法は妥当であったと考えている。 不用額は入札残によるものであり妥当である。 費目、用途は精算段階で検査を行っており、目的に即し必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	文化遺産保存活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)ア	
担当部課名	久米島博物館	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	地域の歴史文化の継承を図るため、古文書の修復及び翻刻並びに口語訳を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a) 当初予算額	16,519	9,744	10,050	10,000	10,572	
	(b) 予算現額	15,957	9,744	9,641	10,500	10,547	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 562	0	▲ 409	500	▲ 25	
	(d) 繰越額	—	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	15,957	9,744	9,641	10,500	10,547	
	B. 執行済額	15,956	9,734	9,641	10,398	10,547	
	うち交付金充当額	12,765	7,786	7,712	8,318	8,437	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.9%	100.0%	99.0%	100.0%	
予算の状況	予算の状況の説明 業務内容の変更はなく、事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	修復件数:230点 進捗71.8%(1625件中1166件(累計))	目標	(230点)	(230点)	()	()	
		実績	230点	230点			
	翻刻・口語訳件数:30点 進捗79.2%(重要資料288件中228件(累計))	目標	(30点)	(30点)	()	()	
		実績	30点	30点			
修復資料を博物館ロビーにて展示	目標	()	(展示)	()	()		
	実績		展示				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施により古文書資料230件の修復及び30件の翻刻を行い、目標数値を達成できた。 これまで当該事業において得られた成果品を展示したロビー展を開催し、多くの観光客や町民に当該事業の成果を公開することができ、また、修復を行った古文書の利用件数、調査利用者が増え、当該事業の成果品の活用がなされた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	修復を行った古文書の利用件数	目標	()	()	(40件以上)	()	()
		実績			69件		
	調査利用者	目標	()	()	(4名以上)	()	()
		実績			9名		
【参考指標】 修復して資料を活用した企画展の来場者数	目標	()	(400人以上)	()	()	()	
	実績		1,333人				
進捗状況説明	<p>(古文書の利用件数) ミニロビー展を開催し、当該事業及び成果品を紹介することで、町民の歴史文化意識の向上に繋がる取り組みが実施でき、目標値40件を上回る69件の利用件数があった。</p> <p>(調査利用者) 調査利用者は目標値4名に対し9名の実績があった。また、調査利用者により調査成果の論文が久米島博物館紀要に寄せられ、昨年度末に刊行された。紀要は、県内の博物館が加盟する沖縄博物館協会、全ての加盟館、県内市町村図書館に配布され、当該事業の成果を広く普及することができた。</p>						

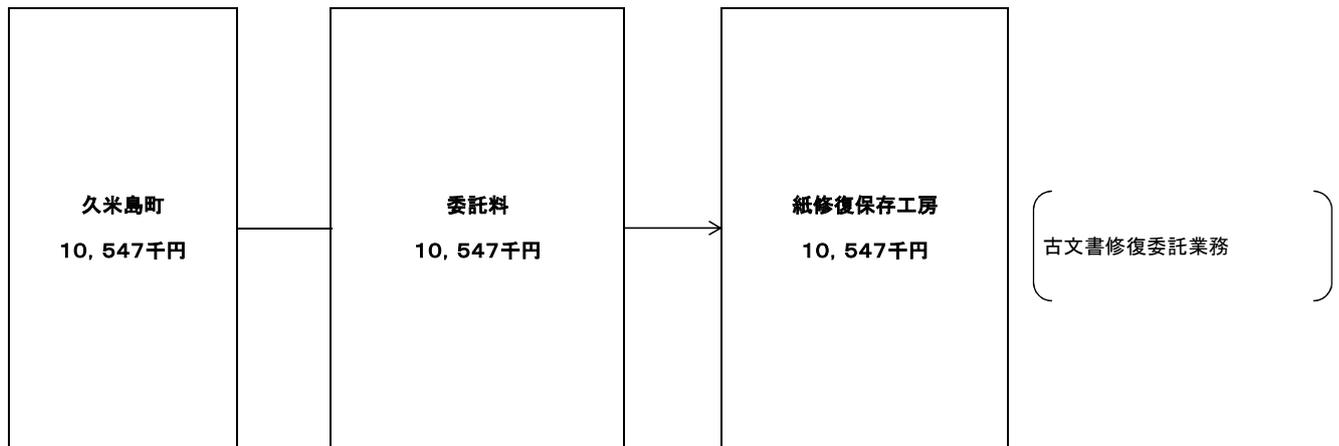
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(古文書の利用件数) ・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図るため、さらに調査研究をすすめ、町民自らが学ぶことができるよう、効果的な活用を検討していく必要がある。	(古文書の利用件数) ・成果品については、適正な保存・管理に努めつつ、町民が取り組む勉強会及び展示会並びに学術利用に寄与するなど利活用を図る。
	(調査利用者) ・年度末予定された調査が、コロナの影響により中止となり、調査件数、調査利用者に影響を及ぼし、令和2年度の4月、5月、6月の調査も中止となった。今後の状況に注意しながらも、調査利用者誘客に向けて取り組む必要がある。	(調査利用者) ・コロナ収束後に迅速に調査が再開されるよう、調査利用者と連絡を密にしていきたい。

今後の取り組み方針

(古文書の利用件数) ・町民の歴史文化、及び文化財に対する関心の向上を図り、常設展示室において修復古文書の展示を行い、当該事業の周知を行う。
(調査利用者) ・成果品の活用を促し、成果品の調査で得られた成果を一般に広く普及する為、調査成果の執筆活動等に寄与する活動を行う。また、久米島博物館のコロナ対策を万全にし、国、県、町の対策方針に注意し、調査利用者が安心して調査を行えるよう務める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
10,547	10,547	8,437	2,110	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○古文書修復委託は特殊な業務内容であったため随意契約であったが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○令和3年度までに目標を達成するための必要な事業規模を算出し、事業を実施した。 ○費目、用途については清算時に検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-② 久米島現代版組踊り創作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(5)ア		
	教育委員会		事業実施(予定)年度 平成24～令和3年度		文化資源を活用したまちづくり		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(2)		
事業内容	地域の歴史文化の継承及び歴史文化を発信する人材の育成を図るため、久米島の歴史を題材とし小中高生が出演・参加する舞台演劇(現代版組踊り)を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,962	6,500	6,169	5,009	4,994
		(b) 予算現額	6,962	6,500	7,062	5,009	4,994
		(c) 増減額(b-a)	0	0	893	0	90
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	6,962	6,500	7,062	5,009	4,994
	B. 執行済額		6,961	6,484	6,773	5,006	4,994
	うち交付金充当額		5,568	5,187	5,418	4,004	3,995
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.8%	95.9%	99.9%	100.0%
予算の状況の説明		消費税率引き上げに伴い、10月に改定契約を行い事業費を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	参加児童生徒数	目標	()	()	()	(25人前後)	
		実績				36人	
	公演・イベント出演等回数	目標	(15回)	(10回)	(12回)	(12回)	
		実績	12回	10回	12回	15回	
	自主開催に向けた指導者の育成	目標	()	(2名)	(1名)	()	
実績			1名	1名			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学生、中学生、高校生計36名によって、創作現代版組踊り「月光の按司」の公演を行った。島内児童生徒数の減少が続いている中メンバーの確保が課題となっていたが、30年度より小学6年生も対象とし今年新たに15名が加わっている。 公演・イベントの出演回数は15回で、目標を上回った。島外から多くの参加者が訪れる催しに出演依頼を受け、ダンス等を披露し、島の歴史的文化を活用した観光資源として注目されている。その他島内の多様な催しに出演し、島の活性化へ寄与している。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	①(歴史文化の継承) 観覧者数2回公演計	目標	()	()	()	(690名以上)	()
		実績				772名	
	②(歴史文化を発信する人材育成) 参加した児童生徒を対象にアンケートを実施し、「取組に参加したことで久米島の歴史文化に関心を持ったか」(90%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(90%以上)	()
		実績			95% ※来場者アンケートの結果を含む	94%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 11月に、島内小中高生36名による久米島の歴史的文化にスポットをあてた創作現代版組踊りを2回(昼・夜)開催した。島内外から772名が観覧し目標値を達成したほか、久米島の歴史・文化に対して理解、関心が深まったと評価を得た。 参加した児童生徒を対象にアンケートを実施したところ、「取組に参加したことで久米島の歴史文化に関心を持った」と回答した割合は94%となり、目標値を達成した。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(観覧者数2回公演計) ・島外インストラクターを月1~2回招聘し稽古を行うことで参加者の演技技能が向上したこと、また、広報活動が効果的に行われたことで町内におけるイベント出演回数が増加し、公演の集客に繋がったと考えられる。	(観覧者数2回公演計) ・島内公演を観覧している観光客の割合が10%未満のため、広報活動を更に強化し、観光客も含めた観覧者の増加に取り組む。
	(歴史文化を発信する人材育成) ・参加した児童生徒へのアンケートにより、当事業が久米島の歴史文化の継承に一定程度の役割を果たしていることが確認できた。	(歴史文化を発信する人材育成) ・今後は、児童生徒がより主体的に事業に参加できるよう、歴史文化の魅力が島内外へ発信できる取り組みを実施する。

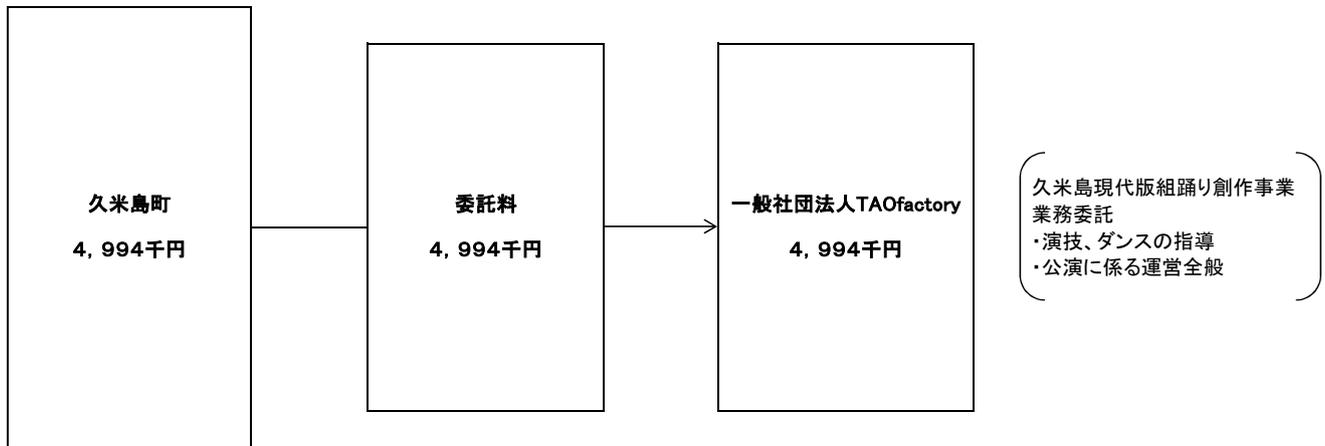
今後の取り組み方針

(観覧者数2回公演計)
・引き続き町内イベントへ出演しPR活動を行う。また、文化観光資源として島内関係団体等と連携し島外への情報発信を行う。

(歴史文化を発信する人材育成)
・メンバーを対象とした歴史文化学習会を開催し、久米島の歴史文化への知識・関心を深めるとともに、学習した成果を活用しメンバーによる関連史跡ガイドを実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付対象外経費	
4,994	4,994	3,995	999	0



資金の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「現代版組踊り」の舞台の演技指導、演出業務ができる業者が1社のため、1社見積もりとし、随意契約とした。 ○不用額はなく適正な予算規模であった。 ○費目、用途については、額の確定時において、報告書検査により確認しており、目的に即し必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	英語指導員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	小学生の英語への興味・関心を高めるため、小学校に英語指導員を配置し、小学生が英語に親しむ環境を創出する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	2,152	2,119	1,911	1,800	6,632
		(b) 予算現額	2,152	2,119	1,911	1,800	6,735
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	103
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		2,152	2,119	1,911	1,800	6,735
	B. 執行済額		1,961	2,118	1,751	1,755	6,735
	うち交付金充当額		1,568	1,472	1,400	1,403	5,388
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.1%	100.0%	91.6%	97.5%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行い適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	英語指導員配置数:小学校2名(日本人を想定。町内の6校を巡回。)・小3～小6の「外国語活動」や「総合探求」の時間に学級担任を支援する。	目標	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校1名)	(小学校2名)	
		実績	小学校1名	小学校1名	小学校1名	小学校2名	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	町内小学校6校の3～6年生の外国語活動の時間に、2名の日本人英語指導員を派遣し、外国語授業の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、児童へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実績		85%	85%		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	児童へのアンケートでは、85%が英語に対する興味・関心が高まったと回答しており、目標を達成できた。						

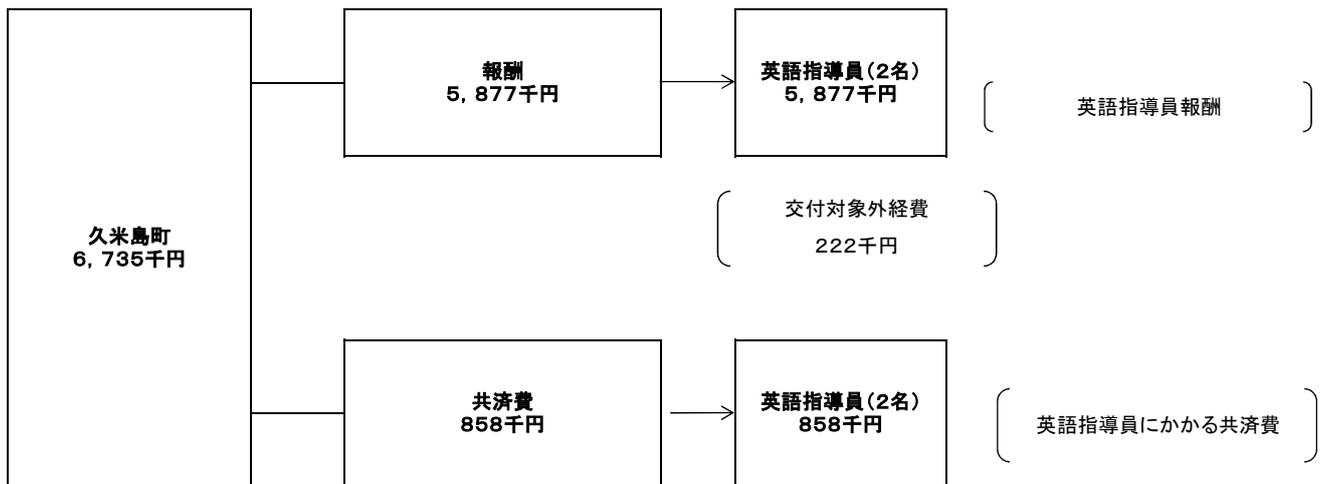
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度から英語指導員を1名増員し、2名体制となったことで、教諭と指導員の打合せの時間が確保でき、授業の工夫・改善に努めることができた。 児童の英語に対する興味・関心をより高めるため、英語指導員の指導技術・教材活用力の向上や、授業改善について検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も教諭と指導員の意思疎通と、綿密な打合せの時間を確保するため、2名体制で実施していく必要がある。 英語指導員の研修機会の設定や、連絡会等の定期開催、中学校の英語教諭との連携について検討する。

今後の取り組み方針

- 引き続き担当教諭と指導員の十分な打合せ時間を確保し、連携体制の構築、強化を図る。
- 英語指導員の指導方法、授業支援の質向上のため、公開授業の相互参観や定期連絡会等の情報交換の場を設定する。また、中学校の英語教諭と連携を図り、授業改善(内容・単語・センテンス等)について検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,957	6,735	5,388	1,347	222



資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、英語指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○予算規模は、事業に見合った規模と考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定している、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	基礎学力向上学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身につける教育の 推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童の学力向上を図るため、小学校に学習指導員を配置し、国語・算数を中心に学習未定着の児童を対象とした学習支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a)当初予算額	3,817	7,109	7,390	7,109	7,311
	(b)予算現額	4,333	7,009	6,987	7,109	7,311	
	(c)増減額(b-a)	516	▲100	▲403	0	0	
	(d)繰越額	—	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	4,333	7,009	6,987	7,109	7,311	
	B.執行済額	4,253	6,910	6,809	6,820	6,805	
	うち交付金充当額	3,402	5,459	5,446	5,456	5,444	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.2%	98.6%	97.5%	95.9%	93.1%	
予算の状況の説明	当初計画していた支援員3名の配置はできたが、3月分の報酬を交付対象外経費としたこと等により不用額が生じた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	基礎学力向上学習支援員配置数: 小学校3校に各1名		目標 (3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	(3名配置)	
			実績 3名配置	3名配置	3名配置	3名配置	
達成状況説明	計画どおり小学校3校に3名の学習支援員を配置することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
	沖縄県到達度調査において、国語、算数で 中学年(3年生・4年生)県平均6点以上	目標	()	()	()	(県平均6 点以上)	()
		実績				県平均+6点	
	沖縄県到達度調査において、国語、算数で 高学年(5年生・6年生)県平均以上	目標	()	()	()	(県平均 以上)	()
		実績				県平均+6点	
	【参考指標】 沖縄県学力達成度調査において県と本町 のとの平均正答率の差県平均以上	目標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	()	()
実績			4科目中3科目で 県平均以下	7科目中4科目 が県平均以上			
進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、国語、算数で中学年(3年生・4年生)、高学年(5年生・6年生)ともに+6点で目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・各種調査の分析を行い、学級担任と支援員が連携しながら、個に応じた支援に取り組んでいるが、学習支援を必要とする児童が増加しており、これまで以上に効率的な個別指導を実施する必要がある。</p>	<p>・サポートが必要な児童の学力定着度の実態把握を行い、具体的支援計画を作成することで、十分な指導が行えるよう取り組む。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・サポートが必要な児童の学力定着状況を把握し、授業中、補習など個別の指導計画をもとに指導を行う。また、学力向上に効果がある取組事例等を、学力向上推進担当教諭研究会等で取組の共有を図り、実践を推奨する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
7,043	6,805	5,444	1,361	238



資金の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については、基礎学力向上指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。 ○不用額ははたもの、適正な予算規模であったと考える。 ○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)ウ		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援員を各学校へ配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(b) 予算現額	28,655	29,513	30,524	29,539	33,649
		(c) 増減額(b-a)	29,160	27,613	27,326	29,539	33,649
		(d) 繰越額	505	▲ 1,900	▲ 3,198	0	0
		A. 計(b+d)	—	0	0	0	0
	B. 執行済額		29,160	27,613	27,326	29,539	33,649
	うち交付金充当額		29,124	27,215	26,630	29,099	32,299
	次年度繰越額		23,298	21,576	21,304	23,278	25,839
	執行率(%) (B/A)		0	0	0	0	0
	予算の状況の説明		99.9%	98.6%	97.5%	98.5%	96.0%
小中学校別配置数に変更は生じたが、支援を必要とする児童数を勘案して配置しており、成果目標の達成状況を鑑みても適正であった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	特別支援教育支援員配置数	目標	(小学校12名 中学校3名)	(小学校12名 中学校3名)	(小学校11名 中学校4名)	(小学校12名 中学校3名)	
		実績	小学校12名 中学校2名	小学校11名 中学校4名	小学校12名 中学校4名	小学校11名 中学校5名	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	特別支援教育支援員について、小学校においては支援を必要とする児童数を勘案し、目標12名に対して11名、中学校においては、目標3名に対して5名を配置した。配置人員数を見直したことで、児童生徒の要支援状況に応じた適正な支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
	実績		83%	85%	87%		
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	・支援を必要とする児童生徒に対し特別支援教育支援員を配置したことにより、対象児童生徒の学習環境が充実した。 ・対象児童生徒の保護者への満足度アンケートの結果、満足であると感じた方が87%であったことから、支援員配置の必要性が確認された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・通常学級に在籍する児童生徒の障害の程度は個人差があり、求められる支援内容が異なるため、個々に必要な支援を行っていくためには、支援員の資質向上を図っていくことが課題である。</p>	<p>・連絡協議会を継続して実施し、現場の課題解決及び資質向上につながるような研修内容となるよう、随時見直しを行う。</p> <p>・対象児童生徒において、必要に応じ、専門的な視点から行動観察等を行い、適切な関わり方についての助言の機会を設ける。</p>

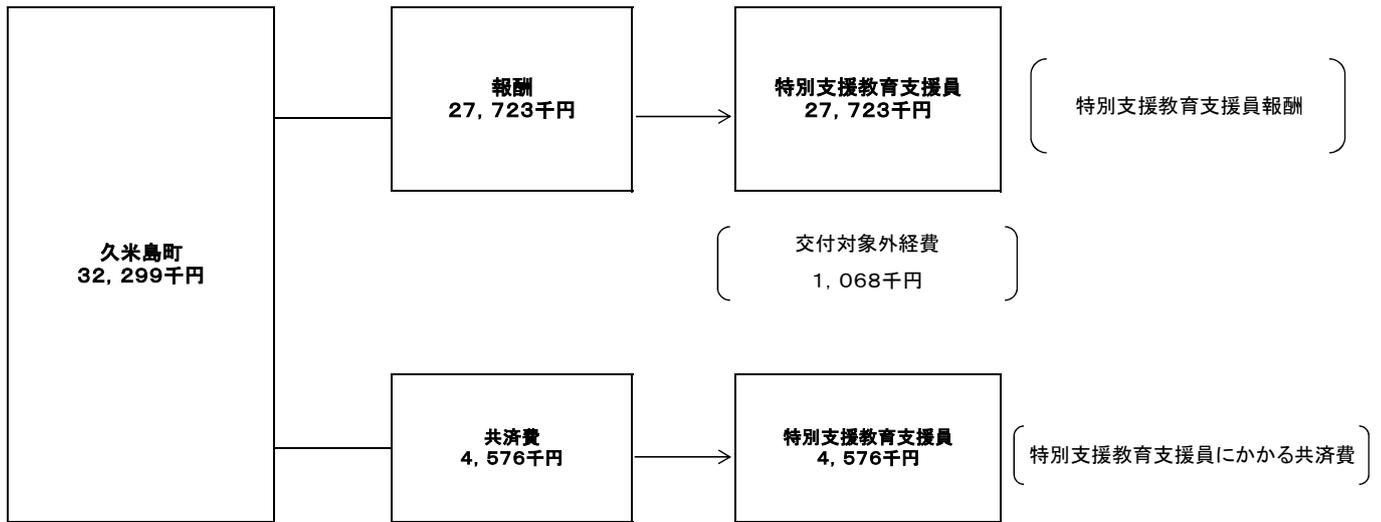
今後の取り組み方針

・連絡協議会において、支援方法についてうまくいった具体的な事例や困っている事案についての情報共有を行う。指導主事が各学校において授業観察を行い指導助言した内容について全体でも共有できるようにする。

・指導主事の授業観察を定期的に行い、支援のあり方について指導助言を行うことで、支援の質の向上を図るとともに、より効果的な活用をめぐる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
33,367	32,299	25,839	6,460	1,068



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定については、特別指導員を公募し、採用面接を実施の上、選考しているため妥当と考える。</p> <p>○不用額ははたもの、適正な予算規模であったと考える。</p> <p>○費目・使途については、事業実施確定時において支出等に関する書類により確認。英語指導員を配置するために必要な報酬、共済費に限定しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

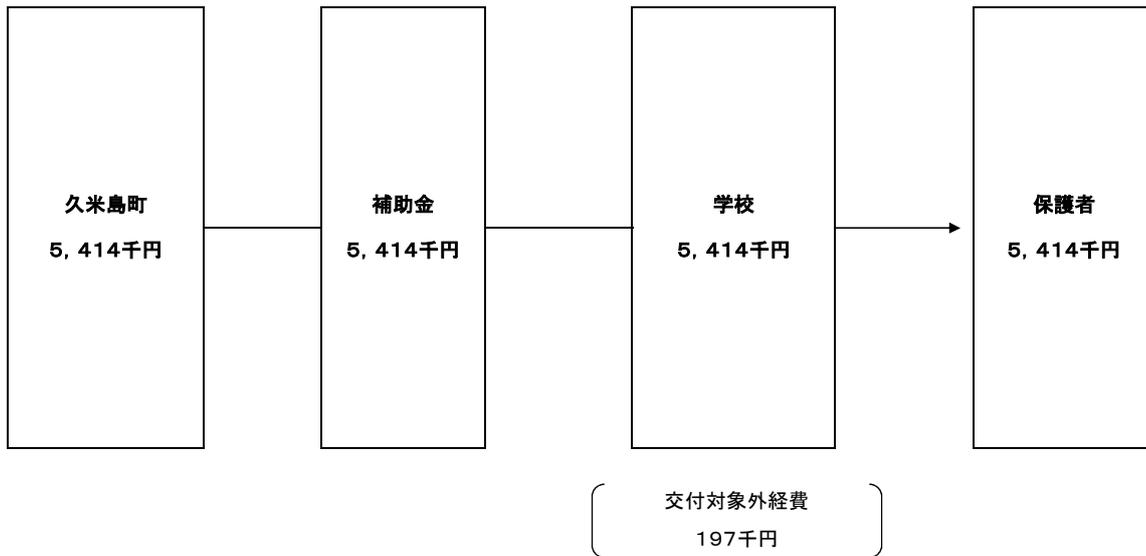
市町村名		久米島町					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-④	児童・生徒各種大会派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やすことで生徒に広い視野を持たせるため、課外活動として島外で開催される各種大会へ参加する生徒に対し、派遣旅費の支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a) 当初予算額	4,533	7,635	7,000	7,220	6,720
		(b) 予算現額	3,533	5,335	4,735	7,220	6,720
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,000	▲ 2,300	▲ 2,265	0	0
		(d) 繰越額	—	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		3,533	5,335	4,735	7,220	6,720
	B. 執行済額		3,269	5,027	4,719	6,344	5,414
	うち交付金充当額		2,615	4,021	3,775	5,075	4,331
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.5%	94.2%	99.7%	87.9%	80.6%
予算の状況の説明		当初予算では6,720千円を見込んでいたが、派遣を予定していた大会が中止となり未執行予算1,306千円が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	中学校の課外学習である久米島町外開催の各種大会等への渡航費用等への補助金支給	目標	(派遣生徒700名)	(派遣生徒700名)	(派遣生徒650名)	(補助)	
		実績	630名参加	509名参加	611名参加	601名補助	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	台風や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各種大会の中止で派遣できない大会もあったが、51の各種大会に601名(延べ人数)を派遣した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	派遣によって生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを行い、本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	()	()
		実績			88%		
	【参考指標】派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上を含め、アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績			86%		
進捗状況説明	1,2年生保護者に対してアンケートを実施し、79名から回答を得た。回答者のうち88%にあたる70名が「派遣によって生徒の視野が広がった」「(個人やチームの)課題、練習への取り組み方が好転した」「参加させてよかった、今後も参加させたい」といった肯定的意見であり、目標値を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業では文化的活動の大会への派遣も補助対象であるが、派遣した51の各種大会等のうち、文化系は3回62名であり、文化・芸能・語学等の発表会等の実績が少ない。 ・島外で開催される各種大会に参加するには宿泊を伴うが、宿泊料金が高騰の傾向にあり、自己負担の増加が懸念される。 ・経済的理由で大会参加を断念することのないように補助額の見直しについて検討を行ったが、今回は現状維持となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象となる大会、コンクール等を周知し、本事業の目的である「島外の人との交流や競争の機会」を確保する。 ・早期割引等を利用して手配できるよう、各部の顧問は大会事務局に早めに日程や開催会場等を確認し、児童生徒へ周知する。 ・補助額の見直しについては、適宜状況を勘案して検討を行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・団体競技だけでなく個人競技や文化系活動への派遣も対象であることを周知し、大会派遣の機会を確保する。 ・各部活動の大会年間計画、各種コンクール(コンテスト)の日程等を早めに確認し、児童生徒へ周知することでスムーズに航空券や宿泊施設の手配に繋げる。 ・今後、交通費(航空運賃)及び宿泊費が急激に高騰する場合等、状況の変化に応じて補助額の見直しを検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,611	5,414	4,331	1,083	197



【補助内容】

- ・生徒1名に航空チケット代5,000円、宿泊費上限3,000円／1泊
- ・同一大会2回目(決勝や順延)・地区代表派遣の場合
生徒1名に航空チケット代全額、宿泊費上限5,000円／1泊

資金の流 れ、費 目・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は町内中学校校長としており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用が生じたが、大会の中止に伴うものであり、補助対象大会、参加人数等について適正な予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○派遣先から補助が出る者については対象外としており、自己負担額も発生しているため受益者には応分の負担をさせている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績確認で費目・使途を審査しており、真に必要なものと判断した。